

上水施設用特殊セメント系断面修復材

Was In the second

JWショットモルタル

上水道施設用断面修復材で 特殊セメント系モルタルです。

特長

- 1) 厚生労働省第5号及び厚生労働省告示第14号 による浸出試験(JWWA Z108:2004、 水道用資材-浸出試験方法) に適合していま す。
- 2) 有機系化合物を含まないモルタルです。
- 3) 安定した強度を確保します。
- 4) コテ塗り、吹き付けの施工が可能です。
- 5) 付着性が高く、コンクリート躯体との一体化が図れます。
- 6) 上水用塗布型ライニング材の断面修復材として使用することが可能です。

標準配合

	JW ショットモルタル	水	練り上がり量
1袋配合	25 kg	4.2 kg	約 13.50
1㎡配合	1850 kg (74 袋)	311 kg	約 1000l

*練り混ぜ水量は施工時の気温、施工方法等により変化しますので $3.9 \sim 4.50$ の範囲で調整しご使用ください。

標準配合

	材令	測定値	試験方法
単位容積質量		2.15	_
フロー値		190	JIS R5201
	3⊟	4.5	JIS R5201
20℃	7日	6.5	セメントの物理
	28 ⊟	7.1	試験方法に準拠
20℃	3⊟	27.6	JIS R5201
	7日	47.2	セメントの物理
	28 ⊟	68.0	試験方法に準拠
20℃	7日	1.5	建研式引張
	28 ⊟	2.2	試験機
20°C	20℃ –	始発 2:45	JIS R5201
20 C		終結 3:35	に準拠
20℃	28 ⊟	0.048	試験法 JHS416
			ダイヤルゲージ法
20℃	28 ⊟	27	JIS A1149
	20°C 20°C 20°C	20°C 28 ⊟ 20°C 28 ⊟ 20°C 28 ⊟	- 2.15 - 190 3日 4.5 7日 6.5 28日 7.1 3日 27.6 7日 47.2 28日 68.0 7日 1.5 28日 2.2 20℃ - 始発 2:45 終結 3:35 20℃ 28日 0.048

上記データは代表値であり、保証値ではありません

荷姿

25kg袋入



施工状況



施工方法

1. 下地処理

- 1. 下地コンクリートの浮き、脆弱部、レイタンス、油類などを除去します。
- 下地コンクリートを十分に水洗いし、湿潤状態を保ちます。 水洗いが不可能な場合は下地をエアーブロー等でよく清掃してください。
- 3. 旧塗膜が除去しきれない場合は、別途ご相談ください。

2. 材料の混練

配合表を目安にモルタルミキサーを用い3分間以上混練します。

- 外気温、水温、練り上がり温度、湿度等により、可使時間、施工性が変 わるため、施工性の確認を行いながら、規定水量を調整します。
- 練り上がった材料は30~45分以内に使い切ってください。
- * 施工時及び養生時の気温が5~40℃で結露しない環境下で施工を行ってく ださい。

3. 施工

- 1. コンクリート下地表面の湿潤状態を確認します。乾燥している場合は、水 打ちを行い後に水引を確認後施工に入ってください。
- 2. 左官によるコテ塗りを行う場合は、3mm程度でしごき塗りを行い、追っか けで所定の塗り厚まで仕上げてください。
- 3. モルタルポンプによる吹き付けを行う場合は、薄く粗拭きを行った後、左 官でコテ仕上げを行ってください。

標準施工厚 5~15mm

(標準施工厚は一度に塗る場合の施工厚です。塗り重ねを行う場合は施工 方法の打ち継ぎ目安を参考にしてください。)

4. 打ち継ぎ目安

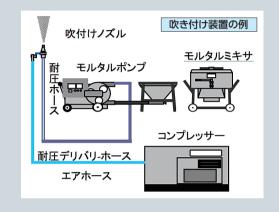
JWショットモルタルの打ち継ぎ間隔は下地の指触硬化 (しまり) を目安とします。

冬期	標準	夏期
気温 5 ~ 15℃	気温 16 ~ 25℃	気温 26℃~40℃
約 4 時間以上	約2時間以上	約 1 時間以上

*打ち継ぎが翌日以降になった場合は、打ち継ぎ面に水打ちを行った 後、施工してください

5. 養生

施工後は、直射日光や風等が当たらないようにシート用養生を 行ってください。又、寒冷時には保温養生を行ってください。



注意

- 1 作業前の確認

IFボINV弾移 取扱い作業に際しては、説明書、安全データシート (SDS) などで、注意事項を確認して下さい。

-2取扱い場所

- (1) 火気のあるところでは、使用しないで下さい。 (2) 取扱い作業所には、局所排気装置を設けて下さい。

- (2) 取扱い作業所には、局所が京装直を設けて下さい。
 1-3取扱い方法
 (1) 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク 又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ、前掛け等を着用して下さい。
 (2) 容器からごぼれた場合には、布(ウェス)で拭きとって、安全な場所に廃棄して下さい。
 (3) 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。

1-4 応急措置

- 1 応急措置 作業衣等に付着した場合には、その汚れをよく落として下さい。 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み、又は外観に変化がある時に は、医師の診断を受けて下さい。 目に入った場合には、多量の水で洗い流し、早く医師の診断を受けて下さい。 蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要 に応じて医師の診断を受けて下さい。
- (5) 誤って飲み込んだ場合は、早く医師の診断を受けて下さい。

5保管方法

- (1) 密栓の上、危険物倉庫に保管するか、指定数量以下の場合は、火気のない5~35℃の直射日光の当たらない場所に保管して下さい。 (2) 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 1-6 断面修復以外の使用禁止
- (1) 本来の用途以外には、使用しないで下さい 1-7廃棄方法

- 河川等の環境中に投棄、及び漏出させないで下さい。
- (2) 廃棄物の処理、及び清掃に関する法律、及び都道府県条例等に基づき、中身を 使いきってから焼却するか、許可を受けた処理業者に委託して下さい。

記載の内容やデータは、当社の試験研究および調査によるもので、十分信頼しえるものと考えておりますが、ご需要家各位において使用された結果を保証するものではありません。 また、使用目的、使用条件により相違する場合もありますのであらかじめご需要家各位で試験等のご確認をお願いいたします。

- 本カタログに記載されている製品の使用、取扱い、保管については、必ず製品説明書および安全データシート(SDS)も合せてお読みください。
- 記載内容は当社試験結果によるもので十分信頼し得るものと考えておりますが、ご需要家各位において使用された結果を必ずしも保証したもので 共通項目 はありません。また、使用目的、使用条件により結果が相違する場合もありますので、予めご需要家各位でご確認されることを推奨します。
- 改良のため、予告なく仕様及び価格を変更することがありますのでご了承ください。確認は最寄りの当社までお願いいたします。
- 荷受けの際、必ず破損の有無をご確認ください。万一破損している場合は、運送会社の証明をもらい、至急当社へご連絡ください。また、ご使用前に製品に異常がないかも確認してください。 (後日に発見された場合は、青を負いかねます。)
- oき、商品写真と実物とは相違することがあります。 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄りの当社へお願いいたします。

TEL (052) 409-1471

● ©アイカ工業株式会社 本書に収録したものの一部または全部の無断複製・転載を禁じます。



ISO 9001 認証取得 JQA-2019 ISO 14001 認証取得 JQA-EM0513 OHSAS18001適合 JQA-0H0017

アイカ互業株式会社

ホームページアドレス

http://www.aica.co.jp/



■代理店

化成品カンパニ-幌 公(011)811-9201

潟 🛣 (025)245-8596 FAX (025) 245-8597 ☎ (087)851-9588 FAX (087)851-9592 FAX (022)235-1067 松 本 ☎ (0263)33-1321 FAX (0263)33-1325 福 岡 ☎ (092)474-1190 FAX (092)474-1282 FAX (019) 653-5419 名古屋 **☎** ⟨052⟩757-1053 FAX (052)757-1058 鹿児島 ☎ (099)226-7511 FAX (099) 226-7515 FAX (0248) 62-1422 静岡 T (054)286-0451 FAX (054) 286-0453 沖 縄 ☎ (098)868-6367 FAX (098)868-6372

仙 2 (022)232-3251 2 (022)232-3251 岡 ☎ (019) 653-5591 福 島 公(0248)62-1420 ☎ (03)5912-2841 FAX (03) 5912-2847 ·// **☎** ⟨076⟩222-9600 FAX (076)222-9608 浜 🏗 〈045〉640-1081 FAX (045) 640-1087 大 阪 ☎ (06)6265-6813 FAX (06)6265-6814 玉 ☎ (048) 601-2191 FAX (048) 601-2190 ☎ (078) 222-6341 FAX (078)222-6326 東 京ショールーム ☎(03) 6770-2012 名古屋ショールーム ☎〈052〉757-1056 大 阪ショールーム ☎〈06〉6265-6828 葉 🏗 〈043〉241-2181 FAX (043)241-2185 京 都 🕿 (075)284-0770 FAX (075)284-0771 FAX (082)255-8817 宇都宮 🏗 〈028〉346-1750 📶 〈028〉 346-1752 広島 ☎ (082)254-1311 北関東 ☎ (027)322-8771 FAX (027)327-2271 11 III 福 岡ショールーム ☎(092) 474-1164

カタログ、サンプル帳、現物サンプルの ご請求はホームページまたはFAXにて

FAX (052)409-1526

■ 商品のお問い合わせ先

ホームページ: www.aica.co.jp

アイカ問合せセンター

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・一部のIP電話等からはご利用に なれない場合がございます。

\$\infty\$\langle (0120\) 525-100 TEL \(\dagge(052\)\409-8313 FAX \(\dagge(052\)\409-1482

D103A 18.03.2S.SG